※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１５

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史入門	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	日本史探求 書き込み教科書（山川出版） 詳説日本史（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。
２．世界の国々の歴史や文化と日本の文化や伝統との違いを理解した上で、おたがいを尊重する姿勢を養う。
３．歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。
４．歴史的事象に対して「なぜ」という考えを持つ。
５．特に日本史Ａはアジアの中で植民地化されずに独立国家への道を進みその究極として戦争の一途へと歩んでいった流れを学ぶことで未来の自分たちの進む途の大いなる指針となってほしい。

２　学習の到達目標

１．「日本史についての基本的な知識」と「史資料等を活用し、歴史を読み取る技能」が身についている。
２．社会の変化や課題について、歴史的な見方・考え方に基づいて考察し、人に伝えることができる。
３．各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて,我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。
４.世界の中で日本がどのように貢献していくか、主体的に考察する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近代日本の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	歴史の事象や歴史の構造に問題を見いだし、分析したり、総合的に考えたり、科学的に思考したりできる。また、それを表現することができる。	日本史の学習を暗記ではなく、歴史的事実や現象に関心をもち、意欲的にそれらを探求する態度を身につける努力をしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期中間	序章・開国と明治維新	幕藩体制の動揺と日本を取り巻く世界の変容 日本の開国と江戸幕府の滅亡 明治維新と富国強兵 明治初期の外交	a：江戸幕府衰退から明治国家成立期の動きの推移及び文化の形成について知識を身につけ、資料を読み取る技能がある。 b：江戸時代の衰退から明治国家成立期の推移及び文化の形成から課題を見出し、西洋諸国のアジア進出と関連付け考察している。 c：江戸幕府衰退から明治国家成立期の動きの推移及び文化の形成に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求している。	定期テスト	ワークシート	行動観察 小テスト
1学期期末	立憲国家の成立・第一次大戦と日本	自由民権運動と立憲制 日清・日露戦争 産業革命と明治文化 政党政治の展開 ワシントン体制 市民文化	a：明治国家成立とその延長の戦争の展開について知識を身につけ、資料を読み取る技能がある b：明治国家成立とその延長の戦争の展開から課題を見いだし，東アジア世界の動向と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c：明治国家成立とその延長の戦争の展開に対する関心と課題意識を高め，意欲的に探究している。	定期テスト	ワークシート	行動観察 小テスト
2学期中間	昭和恐慌と日中十五年戦争から代二次世界大戦	恐慌の時代 政党内閣時の内政と外交 軍部の台頭 日中戦争 第二次世界大戦	a：恐慌の時代から戦争体制への推移，社会・文化の動向について知識を身につけ、資料を読み取る技能がある。 b：恐慌から戦争体制への推移，社会・文化の動向から課題を見いだし，国際関係の変化とその影響とを関連付けて多面的・多角的に考察している。 c：恐慌の時代から戦争体制への推移，社会・文化の動向に対する関心と課題意識を高め，意欲的に探究している。	定期テスト	ワークシート	行動観察 小テスト

※令和４年度以降入学生用

２学期期末	占領下の日本と経済繁栄	占領と改革 冷戦の開始と講和 ５５年体制 高度経済成長期の経済と社会	a: 終戦から復興の日本の歩みと世界との関わりの歴史について知識を身につけ、資料を読み取る技能がある。 b: 終戦から復興の日本の歩みと世界との関わりのと、我が国が経済を中心に復興していく政治的、社会的要因を整理し正しく判断できている。 c: 終戦から復興の日本の歩みと世界との関わりの歴史に対する関心と課題意識を高め, 国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人として責任を果たそうとしている。	定期テスト	ワークシート	行動観察 小テスト
学年末	現代の世界と日本	冷戦の終結と日本 日本社会の動揺	a:冷戦の終結、高度成長の終焉の後の日本はどうあるべきかなど、現在まで続く課題についての知識を身につけ、資料を読み取る技能がある。 b: 西側陣営の一員として日本が独立し、アメリカとの関係を深めることで成長した過程を正しく考察できている。 c:冷戦の終結、高度成長の終焉の後の日本はどうあるべきか、将来の主権者として主体的に考えようとしている。	定期テスト	ワークシート	行動観察 小テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度